

令和7年度 指定管理者モニタリング結果及び評価表

1 施設の概要

施設名称	松本市かりがねサッカー場			所管課 外線番号	スポーツ施設整備課 0263-34-1700				
所在地	松本市惣社3 2 5			設置年月	平成27年4月				
施設設置目的	市民のスポーツの振興と心身の健全な発達を図り、健康増進に寄与する。								
施設概要・設備	敷地面積：36,000㎡ 天然芝コート：10,454㎡ 人工芝コート：8,670㎡ 多目的広場：580㎡ 管理棟：461.65㎡（事務室、会議室、審判室、ロッカールーム、シャワー室、トイレ男女、 多目的トイレ）公衆トイレ：13.89㎡ 屋外倉庫：85.92㎡								
指定管理者名（選定方式）	株式会社信州グリーン（公募）								
指定期間	令和6年4月1日～令和11年3月31日（5か年）								
指定管理者の 主な業務	・施設の使用許可、使用料徴収 ・施設及び設備の維持管理 ・自主事業の企画及び実施								
利用料金制の導入	あり 利用料金制委託料併用方式								
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対目標比（％）	対前年比（％）				
	利用者数	82,294	95,475	116%					
	（特記事項）利用目標は令和6年度利用実績								
事業収支 （単位：円）	指定管理者収支（令和7年度）				市の収支				
	収入 （歳入）	年度計画額		収支実績額		令和7年度決算		令和6年度決算	
		項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額
		指定管理料	30,200,000	指定管理料	30,200,000	行政財産目的外使用料	16,500	行政財産目的外使用料	16,500
		自主事業	445,000	自主事業	1,016,899				
		計	30,645,000	計	31,216,899	計	16,500	計	16,500
	支出 （歳出）	事務費 【内訳】	8,210,000	事務費 【内訳】	5,944,469	指定管理料	30,200,000	指定管理料	30,200,000
		・消耗品 ・燃料費		・消耗品 ・燃料費		市民団体等利用促進事業委託料	1,854,430	市民団体等利用促進事業委託料	1,055,800
		・厚生費 ・水道光熱費		・厚生費 ・水道光熱費		電子決済業務手数料	131,743	電子決済業務手数料	110,037
		・修繕費 ・役務費		・修繕費 ・役務費					
・その他事務費 ・備品			・その他事務費 ・備品						
委託料 【内訳】	12,470,000	委託料 【内訳】	12,457,204						
・消防設備保守		・消防設備保守							
・電気工作物保守点検		・電気工作物保守点検							
・清掃・支援業務		・清掃・支援業務							
・芝生管理		・芝生管理							
人件費等	19,320,000	人件費等	18,560,947						
自主事業	304,000	自主事業	410,347						
計	40,304,000	計	37,372,967	計	32,186,173	計	31,365,837		
損益	-9,659,000		-6,156,068		差引	-32,169,673	差引	-31,349,337	
（特記事項）									

2 市（所管課）による評価

指定管理者の事業計画書(提案書)の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価するものです。
評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

評 価 の 基 準		
A	(1. 0)	高いレベルで実施されており、高く評価できる。
B	(0. 7)	事業計画書（提案書）どおり適切に実施されており、問題は見られない。
C	(0. 5)	事業計画書（提案書）どおり概ね実施されていたが、一部に不適切な部分が確認され、改善に向け対応中または対応済みである。
D	(0. 0)	不適切な部分が確認されたので、改善を指示したが、未対応または改善の見込みがなく、指定管理者の取り消しを含め検討する必要がある。

小計
65.5

大項目	中項目	評 価 項 目	配点	評価	評価の根拠
管理基準対応	市民の平等利用	1 合理的な理由なく利用者を制限や優遇するなど、市民の平等な利用を妨げていないか	2	B	関係法令、条例、および規則を厳格に遵守。公の施設としての役割を十分に認識し、常に公平かつ公正な運営に努めている。
	職員の労働条件	2 労働関係法令等を遵守し、業務従事者の正当な労働条件を確保しているか	2	B	社員・契約社員就業規則、時間外労働・休日労働に関する協定届（労働基準監督署届出）、雇用契約書等を確認した。
	危機管理対策	3 災害時や緊急時等に適切な対応がとれる体制となっているか	2	B	救急救命講習や防災訓練を行い、緊急時に迅速かつ適切な処置が行える体制を整えている。
		4 指定管理者の責に帰すべき事由による損害賠償等のリスクに対応しているか	2	B	発生しうる損害賠償等の保険に加入し、リスク管理を行っている。
	個人情報保護	5 個人情報等や業務上知り得た秘密の保護について、書類・電子データ等のセキュリティ対策を講じているか	2	B	松本市個人情報保護条例等に基づいた適正な情報管理を繰り返し指導し、漏洩防止の徹底に努めている。
	情報公開	6 情報公開や監査請求を理解し、適切な対応を行っているか	2	B	重要な書類は本社にて適切に保管されており、個人情報保護のために鍵をかけている。
管理能力	団体の概要	7 団体の経営状況は良好であり、経営の安定性を欠く点はないか	4	B	財務モニタリングにより問題ないことが確認できた。
		8 当該施設管理運営をサポート・バックアップする体制はあるか	2	B	信州グリーン本部のみならず、松本市野球場や四賀球場と連携しつつ株式会社シミズオクトに協力していただいている。
	管理運営	9 市が示す設置目的及び施設運営方針を理解し、仕様書に示した業務を適切に行っているか	5	B	令和7年度事業報告書により業務が適切に実施されていることを確認した。
		10 市や関係団体等と緊密に連携し、責任を持って事業に取り組んでいるか	3	B	市や競技団体、地域住民等と積極的に連携を図っており、責任をもって多角的な事業に取り組んでいる。
	組織・体制	11 職員体制や配置人員は適切であるか	3	B	芝生管理のスペシャリストを基軸とする専門資格者の配置や大規模施設での責任者経験がある職員を現場責任者として配置し、安定した運営が維持されている。
		12 現場責任者、有資格者の配置、指揮系統や責任権限は適切であるか	2	B	令和7年度事業報告書にて有資格者等の配置、指揮系統や責任権限が確立していることを確認した。
	働き方改革の推進	13 働き方改革に積極的に取り組んでいるか	2	B	計画的な休暇の取得など働き方改革に取り組んでいる。
		14 職員研修計画や業務指導に関し、適切に実施されているか	2	B	救急救命講習や防災訓練、個人情報保護の徹底は昨年度同様行い、本年度より熱中症対策に関する意識強化を新規・重点項目として行った。
	経理及び事務処理等	15 会計処理の基準等に基づき、適正に事務処理が行われているか	3	B	利用料の未払い防止に向けた月次の徹底を図るため、利用実績と入金状況を照合するプロセスを強化し、延滞のない健全な事業運営を維持した。
		16 業務の第三者委託の範囲、委託先は適切に実施されているか	2	B	各業者と速やかに委託業務契約書を締結し、作業実施前に必ず詳細な打ち合わせを行うことで互いの共通認識を図っている。
		17 業務報告や事業報告を適切に作成し、期限までに報告されているか	3	B	業務報告や事業報告は適正に作成されており、報告期限は守られている。
	安全管理	18 事故防止等の安全対策は明確で、職員の教育・訓練は実施されているか	4	B	普通救命講習の受講などにより、安全対策が備わっている。利用者に対する日常的な注意喚起が行われている。
施設の運営	業務内容	19 管理区域、業務範囲についての的確に把握し、適切に管理運営を行っているか	4	A	本社専門チームと芝の管理状況の共有、他施設（アルウィン・野球場）との連携、株式会社シミズオクトの協力、管理専門職員（グリーンキーパー）の配置など、自社の強みを活かした施設の管理運営が行われている。
		20 施設の設置目的を把握し、施設の効用を最大限に発揮する事業運営を行っているか	5	A	施設設置目的に沿った多角的な自主事業を展開し、本来の利用者層を超えた幅広い世代の市民の方が施設に親しみ、健康増進・交流の場となった。
		21 年間の事業量が適切に実行されているか	3	B	令和7年度計画の範囲内で適切な事業を実施している。
	地域との連携	22 地域の住民や団体等との連携に積極的に取り組んでいるか	2	B	近隣の耕作者や惣社財政区の役員の方々との定期的なコミュニケーションや協議を通し、相互理解に基づく良好な関係を構築した。
	利用促進	23 施設の利用率の向上に努めているか	4	A	イベントを通して天然芝を多角的に活用し、既存の競技利用者層を超えた幅広い市民との接点を創出した。
	利用者サービス向上	24 利用者の利便性や満足度を高めるため、具体的な方策を講じているか	5	B	休憩スペースとしてベンチを増設し、自動販売機の設置と合わせ、誰もが立ち寄りやすく、滞在しやすい環境を維持した。
	障がい者等への配慮	25 障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理がなされているか	3	B	点字ブロックや車いす専用駐車場、敷地内へのベンチ設置など障がい者や高齢者・子どもへ配慮した管理がされている。
	苦情・要望等への対応	26 利用者アンケート等を適切に実施し、苦情や要望、意見等に適切に対応しているか	3	B	利用者アンケートの実施を積極的に行い、苦情・要望については市と連携しながら迅速に対応している。
	セルフモニタリング	27 セルフモニタリングが適切に行われているか	3	B	アンケート用QRコードを設置し、利用者の生の声を継続的に収集し、結果を具体的な運用改善へと繋げている。
	環境への配慮	28 施設運営における環境負荷の低減に向けた具体的な目標を定め、認定取得等、その達成に向けた取組みが講じられているか	2	B	消費電力削減のため、適性なエアコンの温度設定や使用時間などエネルギー削減に対する取組みを行っている。
経済性	経費削減・業務効率化	29 経費節減や業務効率化に取り組んでいるか	5	B	施設のネットやゴールの修繕を社内で積極的に行い経費の削減に取り組んでいる。予約システムのCSVデータを活用し集計業務の効率化を図っている。
	事業報告及び決算	30 支出総額は事業計画書の範囲内か、又事業計画とおり収入が確保できたか（又は、利用者を確保できたか）	4	B	令和7年度事業報告書により支出総額は事業計画書の範囲内であることを確認した。

3 利用者による評価
(協定書で指定管理者に実施を義務付けている利用者アンケートの内容)

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日
	調査対象	利用者
	調査方法	QRコードの読み込みによるアンケートの回答
調査結果	別紙のとおり	
利用者からの意見 要望・苦情等	別紙のとおり	

4 指定管理者による自己評価

令和7年度の 自己評価	【自己評価】 指定管理業務2年目となった令和7年度は、前年度に築いた管理体制をより強固なものとし、新設のブランド価値向上と地域共生の深化に全力を注ぎました。特に「信州グリーンフィールド・かりがね」としての新たなスタートを機に、スポーツ振興の拠点としてだけでなく、多世代が交流する場としての機能を高めることができた1年であったと評価します。
要望・苦情への 対応状況	①運営面 経験豊富な社員を軸に、プロチームや各利用団体との綿密な連携を継続しました。 本年度は特に、イベントや大会の内容を事前に精査することで、課題であった駐車場不足や混雑緩和、近隣への配慮を強化し、円滑な運営を遂行しました。また、事務面においても月次管理を徹底し、適正かつ健全な経営基盤を維持しました。
今後の目標	②施設の管理 ネーミングライツ導入に伴う看板等の整備に加え、経年劣化が進む施設構造物（フェンス、照明支柱等）の重点点検を実施し、重大な事故の未然防止に努めました。また、近年の極端な気象変化に対し、社員の熱中症対策やゲリラ豪雨への意識強化を図り、利用者・社員双方の安全を確保する危機管理体制を確立しました。 ③自主事業 前年度の課題を精査し、本年度は事業の「継続」と「拡大」を軸に展開しました。 ・継続と確立 「未来キッズフェスティバル」は関係団体との強固な協力体制のもと、当施設のメイン事業として完全に定着し、地域の子どものための夢を育む場としても確立しました。 ・新規・拡充の成果 「かけっこ教室」の定期開催や「ストレッチ教室」の実施により、サッカー以外の層にも天然芝の魅力を伝え、利用者の裾野を大きく広げることができました。 ・地域連携の深化 季節の物販やイルミネーション設置といった、地域住民が気軽に立ち寄れる環境づくりを推進し、地域に開かれた施設としての存在感を高めました。 【要望・苦情への対応状況】 現場での迅速な判断と丁寧な接客を徹底し、サービスの質を向上させました。 【今後の展望】 令和7年度の成果を礎としつつ、次年度（令和8年度）に向けては、「第2次松本市スポーツ推進計画」が掲げる「スポーツ楽都・松本」の実現をより強く意識した運営へと発展させます。専門技術である「エコアースシステム」による芝生管理のさらなる向上と、市民一人ひとりが輝ける多様なプログラムの提供を通じ、地域社会に最大限貢献できる施設運営を追及してまいります。

5 市(所管課) による総合評価

総合評価（4段階評価）の基準	
A	(1. 0) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等を含め、総合的観点から高く評価できる。
B	(0. 7) アンケート調査結果、セルフモニタリングの内容等も含め、総合的観点から標準を満たしていると評価できる。
C	(0. 5) アンケート調査結果及びセルフモニタリングの内容等、標準を満たしているが、今後改善を必要とするところがある。
D	(0. 2) 改善すべき点が多く、標準に達しないと判断する。

【自主事業を実施している場合の評価】
「天然芝の多目的利用」を定着させるため、多彩な事業の展開を行いました。幅広い世代が施設に親しむ機会を創出した点について評価しました。
【総合的な評価】
様々なイベントを通して従来の主利用者であるサッカー競技団体以外の市民の方の利用も増え、多世代が交流する地域の拠点として運営している点を評価しました。
令和7年度は、ネーミングライツパートナーとしても、施設の認知度向上や利用促進に尽力いただきました。

配点	評価
10	B
点数	7

合計点数
72.5

判断の基準	
75点以上	「良好」
60点以上75点未満	「適正」
45点以上60点未満	「要改善」
45点未満	※「不可」

※「不可」の場合は、指定管理者の取消処分を含め、早急な改善対応の検討が必要

判断結果
適 正

【別紙】

3 利用者による評価

利用者アンケート	実施時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日				
	調査対象	利用者				
	調査方法	QRコードの読み込み・紙によるアンケートの回答				
調査結果	【アンケート総数36件】					
	1 サッカー場の利用について 満足11／ やや満足 7／ 普通12／ やや不満 1／ 不満 5／					
	2 予約対応・手続きについて 満足20／ やや満足 6／ 普通10／ やや不満 0／ 不満 0／					
	3 職員の対応について 満足21／ やや満足 8／ 普通 6／ やや不満 1／ 不満 0／					
	4 施設の清掃状況について 満足18／ やや満足11／ 普通 6／ やや不満 1／ 不満 0／					
	5 施設の器具・備品等の設備について 満足14／ やや満足 9／ 普通11／ やや不満 0／ 不満 2／					
	6 ピッチの状態について 満足 9／ やや満足 5／ 普通 7／ やや不満 4／ 不満11／					
	7 施設の総合的な満足度について 満足 6／ やや満足12／ 普通10／ やや不満 4／ 不満 4／					
	【分析結果】 「予約対応」「職員の対応」および「清掃状況」において高いスコアを維持しており、ソフト面での管理体制およびホスピタリティについては利用者から一定の信頼を得ていることが伺えます。 一方で、「ピッチの状態」や「設備面」については、特定の箇所や夜間照明に対する具体的な改善要望が寄せられています。					
利用者からの意見 要望・苦情等	・照明をもう少し明るくしてほしい。（夜間の視認性向上） ・天然芝のゴール前などの張り替えを定期的に行ってほしい。 ・防球ネットを高くしてほしい。 ・水はけの改善や、冬季の早期利用開始を希望 ・スタッフの対応は親切で、清掃も行き届いており気持ちよく利用している。 ・ゴール裏の防球ネットを天然芝北側（管理棟側）にもう少し増えたらうれしい。 ・温暖化が進んでいるため、オーバースードの検討をしてほしい。					